広報 かじき

全ご家庭に，もれなく配布

第156号
44．7．22発行
発行所　加治木町役場
発行者　曽木隆輝
担当者　向江巧
編集者　中元邦夫
印刷所　吉屋印刷

規則正しい生活で夏休みを安全に

こどもたちが学校から解放され，毎日を家庭で送る夏休み中には，気分的な解放感，生活規律の乱れや野外活動の増加などによって，日ごろ学校に通っているときとは比べものにならないほど多くの危険に取りまかれ，いろいろの事故が多く発生するものです。

親の注意が行き届かないと，遊び過ぎから疲労が積り，思考力も鈍って事故にあいやすくなるものです。こどもの日々の行動，健康状態に十分注意を払うとともに，こども自身に自主自律の生活態度を持つようにしつけることが，大事です。不規則，放まんな生活態度は，休み中の事故の危険を生むとともに，休みあけの2学期の学校生活にも悪い影響を及ぼします。

ともあれ，こどもたちにとっては楽しい思い出となる夏休みです。ご家族で事故のない明るい夏休みをお過ごしください。

元気にラジオ体操……日木山里こども会

農村（小山田・西別府・中野・辺川）集団電話を普及

加入申込みは8月3日まで

電電公社では農村集団自動電話制度を設け、農林漁業地域の便利を図っていますが、加治木町でもぜひこの制度をとり入れ、少しでも農村の生活文化を高めようと、現在新設された企画課が中心になり設置計画をすすめております。

農村集団電話は、申し込んですぐ取付けできるというわけでなく数に限度があって実現までには多少日時がかかります。

加治木電報電話局と加入手続き等について交渉の結果次の手続きが必要になります。

◎まづ対象は本町の場合、農村地区（小山田・西別府・中野・辺川）となり、自動交換機（無人）の設置場所から半経五キロメートル以内の区域に居住される方で、主として農家が対象になります。

◎設置は四十五年度には実現かた努力しますが、加入希望者二百戸以上をとりまとめない限り成果は得られないわけです。

◎加入希望者は、この機会にぜひ申し込んでください。その時になって追加申し込みされても取付けが相当おくれることになります。

◇申込みはどうすればよいか

①電話の取付けを希望される方は加入申込書（住所、氏名、捺印）を八月三日まで部落行政連絡員に提出してください。（申込用紙は行政連絡員のところにあります。）

②申込み締切り

部落行政連絡員の方は、各人から提出された加入申込書とともに名簿（申込者の印鑑が必要）を八月六日まで町役場企画課（防消会館二階）へ提出してください。

③加入手続き

町では、部落から提出される名簿をまって申請書類の作成にかかることになります。この場合全部落のものが集まらなければ手続きがおくれることになりますので部落での申込み期日は必ず守ってください。

農村電話とは

●電話機はダイヤルがついた自動式電話機です。

●電話番号は機械の構造上全部四ケタです。

●一本の電話線を八人前後のかたに共同でお使いいただきます

●ある一人の方が使用中は他の人は使用できません。

●電話機は秘話式になっていますので他人に話しの洩れる心配はありません。

●町内にある普通の電話と同じようにどこへでもかけられます

●取付料（定額）

加入申込料　三百円

設　備　料　一万円

電話債券　六万円

ただし、電話債券については、証券会社等がその時の相場で買入れを引受けます。

●実際取付料

加入申込料　三百円

設　備　料　一万円

債券割引手数料　六千円程度（六万円の一割引き程度）

計一万六千三百円

●使用料～町内は度数に制限なく今のところ月額六百五十円です。もちろん町外へかけられた場合は市外通話料が加算されます。

県有牛・貸付事業の実績

成績は上々

本町の畜農や肉用牛生産を振興して自立農家を育成するため、昭和四十一年度から集団的に県有貸付牛の導入を図ってきました。

そこで昭和四十四年度までのこの事業実績をお知らせします。

◆昭和四十一年度乳牛二十頭を町内全域に四年間貸付

◆昭和四十二年度肉用牛（生産牛）五十頭を小山田地区（ビート栽培地区）に五年間貸付

◆昭和四十三年度肉用牛（生産牛）五十頭を西別府、辺川地区（採草地の多い地区）に五年間貸付

◆昭和四十四年度肉用牛（生産牛）三十頭を日木山上場地区（畑作地区）に四年間貸付

これまでに合計百五十頭の肉付けを実施し二カ月ごとに発育調査削蹄、交配計画、妊娠鑑定、一般指導等を行なっていますが、現在まで事故もなく、また登録検査では六月末現在、七十七点以上合格四〇パーセントの好成績を示しています。受胎率も九六パーセントの優秀な成績です。

なお、下場の水田地帯を中心に農協が行なっている肉牛（肥育牛）貸付は、例年百頭あてでしたが、昭和四十三年度に百五十頭を貸付け多頭飼育をすすめており、町からもこの事業に助成金を出して、農家のかたの自立経営育成を図っています。

香典返しを寄付

社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

金額　御遺族　故人

五千円　岩　原　倉元利恵（父　政助）

三千円　中　野　有村スナ（母　マン）

三千円　小　陣　堀之内ヨネ（夫喜由）

二千円　新富町　中村アヤ子（夫繁治）

二千円　高井田　上枝　笑（夫　稔）

三千円　新　中　下永義則（母　ツマ）

二千円　長　谷　屋所新助（姉　シゲ）

三千円　ヒナバ　服部富義（妻　京子）

五千円　日木山黒川　中神サダ（夫国治）

七月九日までのご寄付を掲載しました。

黒川海水浴場はことしから閉鎖されました。

六月議会から

春日神社の西側に公営住宅を造る

町は本年度の当初予算で、公営住宅二十四戸ていどを造る計画でしたが、さらにふやして一種および二種、それぞれ十六戸の計三十二戸を造ることに改めました。

敷地が市街地内では、とても入手できないので、高井田の春日神社の西側に決め、町開発公社で地主のかたがたの協力を得て、約二ヘクタール（二町歩）を購入しました。

これは、今後の町内外の公共施設や企業の進出に対応する住宅政策上、用地を準備することと、したものです。

学校統合審議会を設ける条例を制定

上場地帯の人口、とくに学童の数が少くなるため、小中学校では先生の数も少くなり、教育上、問題が出てきます。

このため学校統合をしなければ先生にも無理が出てきますし、子どもが不幸になり兼ねないので、町長の諮問機関として三十名以内の委員会をつくることにして、その条例を定めました。

町では、よく調査研究してもらい後日にそなえます。

加中にチーチングマシン

加治木中学校に〝チーチングマシン〟という電気機械による教育機器が備えつけられることになりその関係予算、百数十万円が計上されました。

これは文部省が百万円の機械を県内では加治木中学校だけに貸与するもので、これに必要な備品の購入費です。加治木中だけでなく他の中学生にも利用してもらうことになりますが、英語と数学の教授用に文部省が全国の中学校のうち二十二校に割り当てたものです

柔剣道場がおめ見え

同じ加治木中の校庭に、加治木警察署の武道場の払い下げをうけて移転し、中学生はもちろん、一般の柔剣道場として、利用してもらうことにしました。

その建築費がこのたび予算化されました。

竜中の屋体を建設

竜中小の屋内体育館の建設を、本年当初予算で計画されていました。ところが本年は県内で、昨年にくらべて二倍の十四校の申し込みがあり、しかも国の割り当ては昨年並みで、加治木は永原中を昨年つくったのに引き続いていることもあり、竜中を入れられることはむつかしく、あやぶまれていましたが、幸い県教育委員会や文部省も、国会や県議員がたの支援もあって、これを認めてもらい国の補助も、ほぼ内定し、町も予算を補正して建設することになりました。

西別府・小山田横断道路測量経費を予算化

大字西別府と小山田を結ぶ横断道路については、県へも正式の陳情をしていますが、さらに一歩前進の意味で町で測量し、設計して当局に当たるため、測量経費が計上されました。

港の改築について　県と漁協とが調印

加治木港をもっと大型化するため、町では姶良郡および伊佐郡の開発期成会の協力を得て、県や国に強く働きかけていましたが、幸い、昭和四十三年度から向こう五カ年間に二億四千万円以上かけて改築することにきまりました。

そして、四十三年度二千万円、四十四年度二千四百万円の工事をすることになりましたが、町の漁協との話し合いが難行していました。町長と議長に、最後の交渉を一任されましたので、県と漁協との間をとりもち、さる六月二十日寺師漁協長ほか役員のかたがたと県港湾課々長との間に話しがまとまり、町長、議長、助役など立ち合いのもとに、知事と漁協長、商工水産部長と漁協長間の覚え書に調印がなされました。

県は急いで工事にかかることになりますが、漁協側も約三ヘクタール近くも、うめたてられますので犠牲もありますが、舟だまりもつくられ、もし浅くなれば県で、しゅんせつし、工事用の土砂も黒川の沖から取ることに、話しがつきましたので、工事が順調にすすみ早く完成して、港がにぎわうことを期待しています。

もうすぐ時効　旧軍人加算恩給の請求は早目に

旧軍人の実際の勤務年数に、戦地などの期間を加えて、軍人恩給資格年限（准士官以上は十三年、下士官以下は十二年）に達する人に支給される加算恩給は、ことし九月末までに請求しないと、給付を受ける権利がなくなります。

資格があると思う人で、まだ請求の手続きをしていない人は、町の軍人恩給同志会や傷い軍人会に相談して、軍歴をすぐ県援護課へ送り、申し出てください。

明年度（45年度）は土地の評価替え年度です

自治省は、昭和四十五年度において、土地の評価替えを行ないますが、昭和四十五年一月一日現在で、これを適用することになるため、このほど全国の市町村にこの作業事務を本年度中に完了するよう通達しました。

評価替えの趣旨

最近の経済成長に伴い、土地の価額が大幅に上昇し、時価と市町村ならびに国の評価額との差が著しくなったため、これを是正して評価の統一と正常な土地税利を確定しようとして企図されたものです。

対象となる土地

今回、評価替えを行なう地目は宅地・山林・原野・鉱泉地・池沼などの農地を除いた土地について実施することになっています。

本町では……

この趣旨に基づいて、いまのところ税務課で実施の細部等について検討をすすめており、近いうちに実地調査等を行なうことにしております。

町役場に企画課を新設

課長に中元邦夫前公民館長

六月一日から役場に企画課が新しく設けられました。

町長の当初予算の説明のとき述べましたとおり、本町は、空港、縦貫道、港の着工、バイパス、鉄道複線電化など交通網の整備にともない、いろいろな企業の進出もあり、これに対応して住宅団地を確保し、関係住宅はじめ、町営住宅もどしどし建てる要があり、産業、教育、文化、福祉施設の整備など、今後広域行政にもつながる将来のビジョンの樹立、実施など仕事が大へん多くなります。

そこで、もちろん役場内の各課は専門的に働きますが、横の連絡をとりながら、また専門家や町民の意見をまとめながら、町の発展を計画し、おしすすめて行くためにこの新しい課を設けることにしたものです。企業の進出のめんどうを見るのも町の発展上、必要と考えます。

庁舎が手狭ですので、とりあえずは消防会館の二階で、七名の職員が仕事をすることにしました。

町内外のかたがたの、ご要望にもそいたいと思います。また公共用地をさがすなどの仕事は、同課内の加治木町開発公社でやっています。

企画課では中元課長以下、発令と同時に町長から、県のビジョンに即応した町の振興計画の樹立、公営住宅など、公共用地の確保と農村集団自動電話設置（農村地帯各戸（電話の普及）についての計画を調査し、とくに電話については一両年中に実現できるよう、町長自身で中央でも手をつくしつつあるので、計画立案を急ぐよう特命しました。

就職は職安と学校の紹介で

―人集めの誘いに乗らぬこと―

来年の三月、中学校や高等学校を卒業し、就職するかたがたは、すべて職業安定所と学校の紹介で就職することが有利であり、県外の会社、工場は職業安定所か高等学校の紹介でなければ採用できないことになっています。

しかし最近、若い労働者が非常に少ないことから特に県外の会社工場では来年三月、中学校と高校の卒業予定者の人集めにヤッキになっています。

例えば……

○卒業予定者の家庭を訪問し、または父兄に金品を与える。

○卒業予定者および父兄等を工場見学、観光旅行等に招待し就職を勧誘する。

○いままでは安定所の紹介を受けて採用しながら、こんどは安定所に求人の申込みをしないで直接、採用しようとする。

○会社の関係者以外の第三者に家庭訪問をさせる。

○卒業予定者の父兄や近親者に対し、文書などで就職を勧誘する

そこで安定所では、このような方法で人集めをした会社　工場に対しては中学校、高校卒業者の紹介を一時止めたり、または紹介を取り消したりしますが、もっとも悪質な会社、工場は検察当局に告発をする予定にしています。

就職希望の子どもさんを持つご家庭はもちろん、一般家庭の皆さんも会社、工場の一方的な説明を信用することなく、就職は必ず職業安定所と、学校に相談して決めましょう。

うまい話で人集めする自己本位な会社、工場は、地域ぐるみで追放し、子どもたちの「しあわせ」を守りましょう。

"これだけはすぐ"

交通事故にあったら

交通事故にあったら、まずこれだけは必ず、すぐにしておきましょう。

①どんな小さな事故でも警察へ届け出る。どんな小さな事故でも必ず警察へ届けておくこと。事故当時はたいしたことはないと思っても、あとでけがが出てきたり、重くなったりすることがある。そんなとき、自動車損害賠償責任保険も請求手続きが面倒したり、当然もらえるはずの損害賠償の請求ができなくなったりすることがある

②軽いけがでも医師の診断をうけておくこと。こんなかすりきずぐらい、と思う場合や、または追突された場合、外傷がなく、なんともないと思った場合でも、相手といっしょにすぐ病院へ行き診察を受けておくこと。そうしておかないと、その時の事故が原因だということが証明できなくなる。

③示談の前に賠償問題についての知識を、どんな種類の損害賠償がもらえるものか、どうして計算すればよいのかなど、損害賠償についての十分な知識をもって相手との交渉にあたるようにするためには、県交通事故相談所などを利用してください。

相談から手続きまで すべてその場でOK

交通事故でお困りのかた、県交通事故相談所では、専門の相談員や弁護士が

▽　賠償額の算定のしかた

▽　示談のすすめかた

▽　調停訴訟のやりかた

など詳しく相談に応じています。気軽にご利用ください。

水道工事は町の指定水道工事店で

町水道の新設、増改設工事をするときは、町の給水条例第八条の規定によって指定水道工事店、水道課で施行するようになっています。

指定以外の店などで工事をされますと、給水停止になることもありますので、必ず指定水道工事店か水道課で施工されるよう、お願いします。

指定水道工事店（イロハ順）

二見建設　中塩入	電二二五九
サツマ産業　今町	電二三四七
迫村設備　西岩原	呼二三四六
錦江設備　中塩入	電二八三九
昭和電設　垂ノ口	電二二四七
百二商会　蒲生田	電二四一五

世帯人口の動き

（44年7月1日現在）

◎　世帯数　5579

◎　人口　18.964人

男　10.060人

女　8.904人

◎　6月中の自然増減

出生　20　死亡　8

転入　107　転出　117

特色ある活動

人材開発委員会

わたくしたちの町、加治木には町内小中学校の先生がた全員によって組織され八十年の伝統を誇る〝町教育会〟があって、町の教育を推進していることは、ご承知のとおりです。

きょうは、この中で特色ある活動をしている「人材開発委員会」についてお知らせしましょう。

趣旨

◆加治木町の教育方針にそって、加治木の子どもたちをその能力に応じて伸ばし、現代の国家、社会の求める人材の開発に本町なりの方向を見出し、努力して行こうとするものです。

◆技術革新と社会の流動化の急激な進行は、人間としての生き方にいろいろな問題を投げかけています。政府の「二十一世紀の日本」や県の「二十年後の鹿児島のビジョン」などから、未来社会の求める人材を考えながら、郷土意識のうすれていく傾向にある現状から望ましい郷土意識を育てる教育についても考えていきます。

本年度の努力目標

① 自主性の育成
② 創造性の育成
③ 積極性（意志力、気力）の育成
④ 郷土愛の育成
⑤ 青少年に可能性を信じた夢を育てる。

本年度の事業

○ 郷土の史績調査をして「社会科指導資料」を改訂し、子どもたちに望ましい郷土意識を育てる一助とする。

○ 町民の意識調査結果の分析と解決。

○ 意識調査に基づいて昨年作成した「加治木のよいこ」「中学生の生活」の有効な使い方を研究、実践する。

○ 三年前にさかのぼって就職者の定着状況調査をし、定着をよくする方策を考える。

○ 町内各学校、能力、適性に応ずる教育を推進するために「観察指導」について研究する。

○ 八月末ごろ「加治木町の人材開発を語る」座談会を開き、各界の意見を聞く。

○ 創造性テストを実施して、町内の子どもの創造性の実態を知る。

今年度開講されたもの

◎生活学校　78名（第一金）
◎民踊研究会　79名（第二金）
◎音楽同好会　15名（第三木）
◎交通法規学習会31名（第三金）
◎電気に強くなる会51名（第四金）

今まで歩け運動の名で親まれてきましたが、六月から、史跡めぐりを中心として実施することになり、その第一回目は、六十人の参加を得て実窓寺川原を訪ねました。

地区民の手できれいに清掃手入れされた史跡は、参加した人々の心を清めてくれました。

今後つぎの日程で行なわれますので、多数の参加をおまちします。

町内の史跡を訪ねましょう

毎月第一日曜早朝実施

8月3日6時　加治木城址めぐり
9月7日6時　肝付氏墓ほか
10月5日6時半　鴻ノ巣園ほか
11月2日6時半　信光寺他

「集合場所は加治木町役場前」定刻までお集りください。

第3回 町民夏まつり

8月15日　前夜祭
8月16日　当夜祭

夏まけの対策

バラエティに富んだ食事と睡眠を十分にとろう

七月も中旬を過ぎると暑さもいよいよ本格的になってきましょう。

日本の夏は、温度と湿度が高いため、とくにからだにこたえるといわれますどんなに日ごろ健康を誇っている人も、この高温多湿の夏になると、ひどく疲れをうったえるようになります

そして「夏まけ」という現象がおこるのです。これは、温度や湿度や気圧の変化で、体内のホルモンのバランスがくずれるからだと説明されているようです。

そこで、夏まけの対策として次の二つの点が考えられます。

■ビタミン類を豊富にとること。
■体内の新陳代謝をよくするために「酸」をとること。

よく疲れたときに、甘いものを食べるとよい……」と、いわれますが、甘いものを吸収するために多量のB_1が必要になります。それでなくても夏はB_1の消費が盛んですから、かえってからだが軽くなると、いうことになりかねません

むしろ梅干し、すっぱいくだもの、酢のきいた野菜サラダ類を多くとるように心がけたほうが、賢明ということになりましょう。

ただ、あまり神経質にあれやこれやを考えるとかえってマイナスです。要は、バラエティに富んだ食事を十分とり、よく眠ること。これがなによりたいせつなことです。

暑いからといって、ゴロゴロしていないで、積極的にからだを動かし、あせをかき、おなかをすかせて食事をとるという、何の変てつもない生活方式が結局、いちばんの夏まけ対策といえるかもしれません。

買物は町内の店で

婦人大学開講!!

二百六十名が参加

すでに四年目を迎える町婦人大学では、今年新設の生活学校や交通法規学習会、電気に強くなる会など五部門にわたって募集をしていましたが、二百六十名の婦人がそれぞれの部門に参加されることになり、六月十二日開講式を実施しました。

目まぐるしくうつりかわる時代におくれまいと、消費者としての心構えや、単車の免許取得のための法規学習、電化講座など毎月一回以上の講座が開講されたわけで今後の活躍が期待されます。

国民年金はあなたのために

老後の生活は年金で……の時代

あなたは国民年金に加入していますか。

国民年金制度は、みなさんが年寄りになったとき、病気やケガで働けなくなったとき、あるいは母子家庭になったときに年金を支給して、安心して生活できるようにつくられたものです。

ご存知のように、最近の日本人の寿命は、生活環境の改善、医学の進歩などで大変のびています。

また、これからもどんどんのびていく傾向にあり、全人口に対する六十五歳以上の老人の割合いは現在百人中、六人ですが、昭和六十年には十一人、昭和九十年には二十人になると推定されていますので、わが国は非常ないきおいで老人がふえていくことが予想されます。

このようにお年寄りがふえ、しかも、六十五歳から平均して十五年以上も生きることができる世の中になっているわけですが、最近のように若い人がどんどん県外に出ていったり、あるいはお年寄りと別居したりする傾向が強くなってきますと、これからの老後の生活は子どもに頼る時代でなくなっているともいえます。

ところで、いま働きざかりの若い人たちの中には、自分の老後の問題について、あまり真剣に考えていない人もいるようです。

ここでちょっと考えていただきたいことは第一に、いま元気で働いている若い人たちもやがて老人となり、働けなくなる時期が必ずくるということです。

第二に、年金制度というものは二十年なり二十五年という長い期間、保険料を積み立てないと、十分な年金が支給されないしくみになっています。

わが国の年金制度は〝国民皆年金〟といって、国民すべてがどれかの年金制度に加入することになっていますが、会社の厚生年金保険や役所の共済組合などは二十年以上、国民年金は二十五年以上、保険料を納めないと年金が支給されません。

したがって若いうちから加入して老後に備えないと、年をとってからでは取りかえしがつきません

国民年金制度は将来の老齢年金だけのものではなく、障害年金や母子年金、あるいは遺児年金というものがあります。

最近のように交通事故がひんぱんに起こる世の中では、いつケガをするか、わかりません。また一家の大黒柱ともいうべき夫をなくして母子家庭になることもあります。そのようなとき、障害年金や母子年金を支給して、みなさんの生活のささえとなる国民年金は、けっして遠い将来のものではないのです。

国民年金はあなたのものです。制度の意義をよく認識して、いますぐ加入してください。

加入の手続きは簡単です。役場の国民年金係りに届け出るだけですぐすみます。

九月から電話番号は五ケタに

お宅の電話番号に局番

加治木電報電話局では、局舎の増築工事を終え、内部の施設工事を急いでいましたが、いよいよ、九月上旬から新しい加治木電報電話局として再スタートすることになります。

先ず電話について、これまでと変わった点をお知らせします。

◆市内局番

これまで町内の電話番号は四ケタでしたが、九月上旬から市内局番がつきます。②あるいは③

（例）現在……2156番

九月から……②2156番

市内（町内）通話も市内局番をふくめて五回、ダイヤルしないとつながりません。

電話をかけるとき、また、かかってきた時を利用して　あなたの新しい電話番号をPRしておくことも相手に対する親切というものです。

◆全国ほとんどの

地域とダイヤルで

いままでの申込み即時通話（一〇三番）はなくなり、全国ほとんどの地域とダイヤル一つで市外通話ができます。

ダイヤルの数字を一つまちがえると、とんでもない所へつながり料金のムダにもなります。

◆休まずダイヤルを

発信音を聞いたら休まず、つづけてダイヤルしてください。発信音を聞いてから二十秒以内に最初の数字をダイヤルしないと切れます。また、ダイヤルとダイヤルのかんかくを五秒以上あけますと切れます。ご注意ください。

◆公衆電話でダイヤル市外通話

公衆電話からもダイヤル市外通話ができます。

町内の目抜き通りなどに、大型青電話および大型赤電話がお目見えします。

◆便利なダイヤル市外通話

ダイヤル市外通話は、交換手がつなぐ一〇〇番申込みより早くつながります。

加治木

耕地事務所など表彰

六月二十日、自治会館で、県土地改良連合会の総会が開かれ、関係者三百名あまりが出席して、曽木町長が議長になって、決算、予算など議案十件を審議されましたが、この席で県下の優良事業所として、加治木耕地事務所が優勝旗を、優秀事業は英美建設、岩沢社長の宮内原用水路工事が第一位の表彰をうけました。

交通災害遺児を救う

〝ハンドル献金運動〟

交通事故で親を失なう子どもたちが、しだいにふえ社会的な大問題となっています。

県交通被災者協会は、そのような交通災害遺児をみんなの力で救済しようと、全国的に〝ハンドル献金運動〟を始めました。まずハンドルを持つ仲間同志が、自分たちのグループ献金で、これらの交通遺児を救済していこうというものです。

この運動の中味は、損保会社、自動車学校、ドライブイン、交通公園、官公署などに献金箱に設ける。そして運転者法令講習会を利用して交通安全協会、安全運転管理者、運行管理者、安全運転友の会、さらには車を所有する各事業所に献金を呼びかける。

こうして集まった善意のお金はとりあえず二十歳未満の交通災害遺児に、年数回、物品を支給するということです。県民の善意の協力が望まれています。